

愛労連



愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://www.aireon.gr.jp>
発行人 横松 佐一
第133号 2004年8月17日

愛労連 第1回評議員会

■とき 9月11日(土)
13:30開会
■ところ 労働会館東館 2Fホール
■愛労連第31回定期大会報告特集

愛労連 第31回 定期大会

草の根から 総反撃へ

愛労連の出番

愛労連は7月25日、名古屋市中村区役所講堂で第31回定期大会を開催し、代議員や傍聴など約250名が参加しました。最初に見崎議長が幹事会を代表してあいさつ。来賓には全労連の団体連合会の森田茂副会長、日本共産党愛知県委員会の岩中正巳委員長が駆けつけました。

議紹介では愛労連の支援する争議団が勢揃いし、争議の早期解決をめざす決議を全員の賛成で採択し、争議をたたかう仲間を激励しました。討論では14単産、3地域組織、2補助組織からとつの特別発言を含む27の発言がされ、すべてが幹事会の提案する方針や組織拡大3カ年計画を支持・補強するものでした。採決ではすべての議案と大会宣言が可決され、36名の新役員が選出されました。(詳細は2~4面に掲載)

住民生活と暮ら
し改善めざし、
がんばろう



自治労連県本部
長坂書記長

2004年人事院勧告が
出されました。その内容
は、私たちの要求に応えた
ものではないものの、「悪
魔のサイクルにストップ
を」と、官民労働者一体の
たたかいが一定反映したも
のと言えます。しかし、公
務員賃金の抜本改悪への布
石として出された「報告」

2004年人事院勧告が
出されました。その内容
は、私たちの要求に応えた
ものではないものの、「悪
魔のサイクルにストップ
を」と、官民労働者一体の
たたかいが一定反映したも
のと言えます。しかし、公
務員賃金の抜本改悪への布
石として出された「報告」

では、「成果主義賃金」や
「地域格差」を持ち込み、
職場と地域を破壊し、物言
わぬ公務員作りを進めよう
としています。

05春闘に向け、
民間労働者の問
題として



愛知県医労連
原 書記長

2004
人 勧

寒冷地手当改悪勧告と 本俸水準を引き下げる報告

人事院は8月6日、一般職国家公務員の給与改定に関する勧告および報告を行いました。5年連続の年収切り下げは阻止したもの、寒冷地手当の支給地域や支給額、支給方法を抜本的に見直す労働者の切実な要求を視した勧告です。同時に「報告」では、「給与構造の基本的見直し」として能力・業績主義強化の「査定昇給」や地域給を本省を重視して配分することなど、今後の俸給構造抜本的見直しを一方的に打ち出しています。

とめどなく進んでいる。その影響は、公務職場も含めすべての職場・地域に及び、ついに「公務員の定昇廃止」も打ち出されている。雇用保障し、みんなが「人間らしく生

とめどなく進んでいる。その影響は、公務職場も含めすべての職場・地域に及び、ついに「公務員の定昇廃止」も打ち出されている。雇用保障し、みんなが「人間らしく生

とめどなく進んでいる。その影響は、公務職場も含めすべての職場・地域に及び、ついに「公務員の定昇廃止」も打ち出されている。雇用保障し、みんなが「人間らしく生

とめどなく進んでいる。その影響は、公務職場も含めすべての職場・地域に及び、ついに「公務員の定昇廃止」も打ち出されている。雇用保障し、みんなが「人間らしく生

とめどなく進んでいる。その影響は、公務職場も含めすべての職場・地域に及び、ついに「公務員の定昇廃止」も打ち出されている。雇用保障し、みんなが「人間らしく生

愛労連議長
あいさつ

愛労連への期待を確信に 職場・地域から奮闘を



見崎徳弘議長

トヨタはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

トヨタをはじめ巨大企業が史上空前の利益をあげる一方で、3年連続の企業労使の姿勢が「重し」になつて、働く者の賃金・雇用・権利の破壊が

感動みんなの元気に心あつく

8月4日から6日に広島で開かれた原水爆禁止2004年世界大会に参加した青年のみなさんに、感想を寄せてもらいました。

村瀬とも子さん(東海法労)

一番印象深かったのは、10~20代の青年が元気だったこと。青年・学生の代表団との交流会に参加し、彼らの熱い思いを聞きました。「若者一人ひとりは微力だが、決して無力ではない」「被爆者は高齢だ。もう一度核のない世界を見せたい」等。さまざまな意見が飛び交い、刺激を受けました。私自身何かしなければ、何ができるのか…。考える機会になりました。



小松民子さん(東海法労)

7800人が思想・信条・国籍を超えて集った世界大会に感動しました。日本が行った戦争の真実を知り、戦後59年経った今もなお残る戦後処理に努力あることを再認識させた。私たちの運動にとって重要な課題であることを報告され、鶴の提案など女性らしい報告や提案がされた。女性労働者の半数がパートや臨時という実態も報告され、私たちの運動にとって重要な課題であることを再認識させた。はたらく女性の愛知県集会を若い人たちをたくさん誘って成功させたい。



高校生から年配の方まで、世界中からたくさんの人たちが集まり、その規模に圧倒されたのと同時に、真剣に平和を願い、核廃絶を世界に訴えている姿を見て感動しました。分科会では、「動く分科会」に参加し、当時の悲惨さを生きて守っていました。人間の命より尊いものはありません。一日も早く、核廃絶の願いが叶うよう呼びかけていきたいと思います。

河辺千佳子さん(岩倉市職)



古田雄一さん(名古屋市職労)

弘信氏の講演を聴き、日本では報道されていないイラク・アフガニスタンの真実を知り、世界大会に初参加することを決めました。来年は終戦60周年という節目を迎えます。平和なくして安心して働く職場はありません。名古屋市職労からも来年は大勢の方が参加し、一日でも早い核兵器廃絶、平和の実現に向けて考えていきましょう。



ローカルユニオン
安藤代議員

ゆたか分会は、設楽町にある福祉村に勤務していた泰中さんに対する5時間に及ぶ人格・健康破壊の退

めなくてはなりません。その場合、被爆国であるからこそ心から平和を求めていることに自信をもつていいのではなく、女性の愛知県集会を若く女性の愛知県集会を若い人たちをたくさん誘って成功させたい。



原水爆禁止世界大会

女性協は6月19日に第15回定期総会を開いた。愛高教からは養護教諭部の立ちあげ、自治労連からは平和バスツアーや建交労からは憲法9条を守る5千羽の折り鶴の提案など女性らしい報告や提案がされた。女性労働者の半数がパートや臨時という実態も報告され、私たちの運動にとって重要な課題であることを再認識させた。はたらく女性の愛知県集会を若い人たちをたくさん誘って成功させたい。

パートや臨時の運動に力を入れてきた。月1回だが、労働相談もとりくみ、パートや臨時に絞った相談活動も必要だとビラをつくり宣伝している。9月4日には地域でのパート交流会も開催する。時給マップを作り、9月には新聞折り込みで知らせる。さらに、時給だけではなく有休なども含めた実態調査をすすめ、課税最低限度額の引き上げを上げなければ、時給の引き

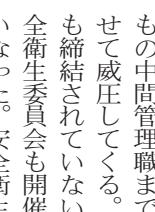
世界最大、最古の職業病。毎年1200名を超える患者が亡くなっている。じん肺はでもじん肺認定職場は4千以上あるが、この中の組織化も始まっている。愛知県労働者協会から國が労働時間問題に介入するなどを要望書が出されたが、裁量労働が拡大すればサービス残業は取り締まれない。次期通常国会で法案化の可能性もあり、労働行政が縮小、解体されようとしている。

中部共同印刷労組では、平和課題を重視してきた。小牧基地や高蔵寺弾薬庫などがあり、イラクに派兵されたC130H輸送機などが、演習を繰り広げている。さらに中部新空港の開港後には空飛ぶガソリンタンクといわれる空中給油機が配備されようとしている。今年1月末から毎週、イラク派兵反対の昼テモを建交労の仲間とともに22回おこなってきた。

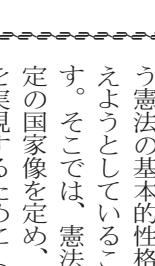
輸送機が配備されようとしている。今年1月末から毎週、イラク派兵反対の昼テモを建交労の仲間とともに22回おこなってきた。



通信労組
高野代議員



みなと医療生協では、春闇がまだ終わっていない。休日手当の改悪を飲まなければ、夏の一時金を支払わない。団交のときに40名もの中間管理職まで出席させて威圧してくる。36協定も締結されていないし、安全衛生委員会も開催されていない。安全衛生委員会はおこなわれるようになつたが、労働組合は排除されている。これが医連の職場か。引き続きストライキを含めた戦術を配置しながらがんばっていく。



憲法に替わる「新憲法」の制定を掲げ、平和憲法の全面的見直しを主張。

(04年6月)は、日本国憲法に替わる「新憲法」

がまとめた「論点整理」

正プロジェクトチーム

がまとめた「論点整理」

がまとめた「論点整理」